

ellipse

[エリプス]

TOPICS

「伝統芸能×未来」プロジェクト (JPAF) リリースイベント 対談「歌舞伎の国際化をめぐるって」

中村京蔵 (歌舞伎俳優)

児玉竜一 (早稲田大学教授、早稲田大学演劇博物館副館長)

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

イベント情報
事務局よりお知らせ

「伝統芸能×未来」プロジェクト (JPAF) リリースイベント 対談「歌舞伎の国際化をめぐる」

中村京蔵 × 児玉竜一

(歌舞伎俳優) (早稲田大学教授、早稲田大学演劇博物館副館長)

2020年7月23日(木・祝日) 15:00 ~ 16:30

司会・進行 埋忠美沙(お茶の水女子大学准教授、「伝統芸能×未来」プロジェクト担当)

能・狂言・文楽・歌舞伎など日本は伝統芸能が豊富な国です。

日本が誇る文化であるとともに、時代と国境を超えるメディアともいえる伝統芸能の諸相を通して「文化、すなわち人間の営みについての広い視野」を培う試みが、お茶の水女子大学でスタートしました。その名も「伝統芸能×未来」プロジェクト「未来へつなぐ伝統芸能」(Japanese Performing Arts toward the Future JPAF)。今後、国際交流留学生プラザを舞台に、学内外の幅広い世代を対象として、伝統芸能に関わるイベントを開催していきます。

記念すべきリリースイベントは、TOKYO 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、日本文化の国際発信について考えるという趣旨で、海外公演のご経験が豊富な中村京蔵氏と伝統芸能の上演事情に詳しい児玉竜一氏の対談が企画されました。コロナ禍でオリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、このイベント「歌舞伎の国際化をめぐる」は Zoom を使用してオンライン開催され、約170名の参加がありました。

埋忠准教授の開会の言葉、室伏学長のご挨拶に続いて、1時間ほど、海外発信の具体例とその反響についてのお話があり、最後に、チャットで寄せられた質問に答えるコーナーが設けられました。

【学長挨拶より(抜粋)】

お茶の水女子大学長 室伏きみ子

歌舞伎を代表とする様々な日本の伝統芸能は、時代と国境を越えて、日本が世界に誇る素晴らしい文化です。ボーダレス化が進む社会において、未来を担う若い方々に、日本で生まれて長い時間かけて育まれてきた素晴らしい文化を知っていただきたい、さらにそれを未来に向けて伝えていただきたい、そういった想いからこのプロジェクトは始まりました。

私自身も母の影響で、幼い頃から様々な日本の芸能、芸術に親しんで参りました。歌舞伎の大ファンだった母に連れら

れて、しばしば歌舞伎座へと足を運ぶなど、折にふれて日本の伝統芸能・伝統芸術の魅力に満たされながら生活を送ってきたことは、私の人生をとっても豊かなものにし、次のステージに向かう勇気を与えてくれた、と感じております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、これまでなかなか思うような活動ができませんでしたが、本日、このような形で開催することができ、大変嬉しく思っております。今後さらに、皆様に伝統芸能の素晴らしさ・奥深さを知っていただけるように色々工夫を重ねてまいりますので、ぜひ、たくさんの方々にご参加いただき、ご

「伝統芸能×未来」プロジェクト (JPAF) リリースイベント
対談「歌舞伎の国際化をめぐる」
中村京蔵 × 児玉竜一
(歌舞伎俳優) (早稲田大学教授、早稲田大学演劇博物館副館長)

は、この対談は、日本の伝統芸能が海外に伝わることで、日本文化の国際発信に大きく貢献している。また、海外公演のご経験が豊富な中村京蔵氏と、伝統芸能の上演事情に詳しい児玉竜一氏の対談が企画されました。コロナ禍でオリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、このイベント「歌舞伎の国際化をめぐる」は Zoom を使用してオンライン開催され、約170名の参加がありました。

2020年7月23日(木・祝日) 15:00 ~ 16:30
Zoomによる生配信
対象：学生、一般(定員350名) 無料
申込期間：2020年7月15日(水) ~ 23日(木) 12:00
申込方法：お茶の水女子大学ウェブサイト
https://www.u-t.ac.jp/~jpa/

「伝統芸能×未来」プロジェクト
未来へつなぐ伝統芸能
Japanese Performing Arts for the Future (JPAF)

日本は伝統芸能の宝庫です。能・狂言・文楽・歌舞伎……これだけ多種多様な伝統芸能が現在まで受け継がれているのは、実は世界を見てもほとんどありません。新しい国際化が進む時代でも、古い時代のものを残し、伝えること、それは現代の文化として受け継がれていくべきものであると考え、現在の豊かな伝統文化を継承し、未来へとつなぐ活動を始めています。

伝統芸能は日本の誇る文化であるとともに、時代と国境を超えるメディアといえるでしょう。海外発信を通じて、日本文化の国際発信に大きく貢献している。また、海外公演のご経験が豊富な中村京蔵氏と、伝統芸能の上演事情に詳しい児玉竜一氏の対談が企画されました。コロナ禍でオリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、このイベント「歌舞伎の国際化をめぐる」は Zoom を使用してオンライン開催され、約170名の参加がありました。

学長メッセージ
室伏学長が、海外公演について、学生、日本舞踊、華道など、日本の伝統文化について話されました。特に、海外公演を通じて、日本文化の国際発信に大きく貢献している。また、海外公演のご経験が豊富な中村京蔵氏と、伝統芸能の上演事情に詳しい児玉竜一氏の対談が企画されました。コロナ禍でオリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、このイベント「歌舞伎の国際化をめぐる」は Zoom を使用してオンライン開催され、約170名の参加がありました。

お問い合わせは、お茶の水女子大学ウェブサイト
https://www.u-t.ac.jp/~jpa/

支援とご協力をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

【対談より (抜粋)】

—— 初めて歌舞伎の海外公演が行われたのは1928(昭和3)年7月。二代目市川左團次一座が、モスクワ、レニングラードで「修禅寺物語」「鷺娘」「烏辺山心中」「忠臣蔵」「娘道成寺」などを上演して大きな反響を呼んだ。その後、約90年間に大小さまざまな海外公演が80回近く行われ、「歌舞伎は旅する大使館」というキャッチフレーズも生まれた。今や「kabuki」は世界共通語である。

わけても中村京蔵氏は、海外公演や歌舞伎のレクチャーのご経験が豊富で、国際交流基金の日本文化紹介派遣事業、グランド歌舞伎、『NINAGAWA マクベス』など通算で34か国、60都市を訪問している。実は歌舞伎役者になるまでは海外旅行にも行ったことがなかったが、郡司正勝作・演出の歌舞伎版サロメの『沙羅女急々の段』に主演したことがターニングポイントとなった。——

初めての海外公演で感じたこと

京蔵 日本で上演した『沙羅女急々の段』を、郡司先生のご門下でアメリカで演劇活動をされている土居由利子さんがご覧になって、「ぜひアメリカでも」とおっしゃって、1994年にサンフランシスコとロサンゼルスでやったんです。私が海外で歌舞伎役者として活動したのはそれが初めてでしたが、のっけから、異文化との異種格闘技に直面しまして、それはもう驚きました。郡司先生がいらっしゃったので歌舞伎の立場を死守することができたのですが、自分は今、歌舞伎を背負って来ているんだと強く認識し、あだやおろそかにはできないと思いました。

それ以来、海外に歌舞伎のご紹介に行くときには、日本を背負っていく、歌舞伎を背負っている、という意識が非常に強くなりました。

『NINAGAWA マクベス』の思い出

児玉 私が初めて京蔵さんと海外にご一緒したのは、2017年、『NINAGAWA マクベス』のロンドン公演でした。市村正親さんがマクベスで、京蔵さんは魔女の役でしたね。

京蔵 初演では大先輩の嵐徳三郎さんがなされたんです。その時に日生劇場で拝見したのですが、歌舞伎の女方にもこういう可能性があるんだということを目の当たりにして、も

うびっくりいたしました。2015年に、シアター・コクーンで17年ぶりに再演するときに声をかけていただきました。まさか私が魔女をさせていただけるとは思っていなかったの、とても嬉しかったです。蜷川先生は「ともかく徳三郎さんの通りにやれ」とおっしゃったので、徳三郎さん型の魔女なんです。



『NINAGAWA マクベス』の魔女

児玉 シェイクスピアなんだけれども、まさに歌舞伎役者が「型」を継承するような感じだったんですね。

京蔵 私はセリフの言い回しからニュアンスまで徳三郎さんの通りにさせていただきました。歌舞伎役者は、先輩や先人がやったことを踏襲することに、全然抵抗がございませんので。

ただ、徳三郎さんは、とても足の悪い魔女を造形なさっていたのです。実は、私は、それがちょっと嫌だなと思っていたので、あまり足を悪くしないで、お稽古をしていたんですね。そうしたら、蜷川先生がマイクを持ちまして「もっとちゃんと足の悪いように演技しろよ」って怒られました。

児玉 別名「仏壇のマクベス」といって、舞台が巨大な仏壇になっていて、観客席から出てきたおばあちゃん二人が仏壇の扉を開くところから、芝居が始まります。その中で「マクベス」が演じられるという設定ですね。

京蔵 舞台の上でスタンバイしていると、紗幕を通して観客席が全部見えるんです。鎗金具に至るまで精巧にできている仏壇が動くのを海外のお客様は本当に驚いてご覧になっていました。

ロンドンの方は、開演が19時とか20時で、お仕事を終わられて、軽く食事をされて、それから家族連れや友達同士で劇場にいらしゃいます。終演が22時とか22時半なんです。仕事が終わったあと劇場に足を運ぶという文化が、ちゃんと根付いていて、非常に羨ましいと思いました。

ロンドン以外にもいろんな国の都市へ伺いましたけれども、皆さん、夜遅い時間にもかかわらず来てくださいます。

児玉 日本の歌舞伎は朝の11時から開きますが、海外ではそんなショーはまずありません。

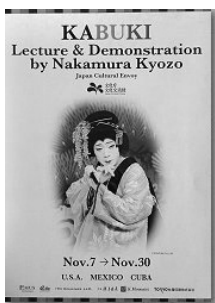
『NINAGAWA マクベス』のロンドン公演の時には、在英国日本国大使館にご一緒して、ロンドンの劇評家や演出家と一緒に蜷川先生のシェイクスピアを考える機会があり、京蔵

さんから、歌舞伎の女方がシェイクスピアを演じることに
いてお話を伺いました。歌舞伎の方法をシェイクスピアに
用するという蜷川先生の発想、歌舞伎の女方の可能性につ
いて、一般応募の聴衆の皆様が非常に熱心に聞いてくださ
ましたね。

令和元年度 文化庁文化交流使派遣事業

—— 京蔵氏は、令和元年度の文化庁文化交流使の派遣指
名を受け、2019年11月5日から12月4日まで、アメリカ
(サンフランシスコ・ロサンゼルス・ミシガン)、メキシコ(メ
キシコシティ)、キューバ(ハバナ)で歌舞伎のレクチャー
とデモンストレーションを行った(協力・早稲田大学、松竹
株式会社)。サンフランシスコとロサンゼルスには、児玉教
授も同行した。——

児玉 どのようなことをしたかとい
いますと、最初に京蔵さんが、「藤娘」
の女方舞踊の一コマを踊らせて、
私がPowerPointを使って「歌舞伎
とは何か?」というレクチャーをし
ました。続いて、京蔵さんから女
方のしぐさと感情表現についてのワ
ークショップがあって、私がレクチャー



令和元年度文化交流使の
フライヤー

で繋いでいる間に、京蔵さんが支度をして、最後に「石橋」
の後シテのところをお目にかかる。これで約90分間です。

役者さんは京蔵さんお一人。衣裳さんと床山さんがお一人
ずつ、レクチャー担当の私、松竹株式会社の方で総勢5名、
必要最小限のメンバーでした。



児玉教授のレクチャー「歌舞伎とは何か?」

京蔵 今回は規模が小さく、私は女方ですから、女方に特
化した演目にしようと思いました。「藤娘」は、普通は「引
き抜き」(衣装の早変わり)がないのですけれども、それを
ご覧に入れたかったので、1回入れて、女方の舞踊はどのよ
うなものかというのを十数分間お見せしました。それから、
やはり獅子の毛振りは喜ばれますので、ラストは「石橋」の
女方の獅子の毛振りをご覧に入れました。

文化庁からは、現地の文化とのコラボレーションは必ず
やってほしいとご要望がございました。色々考えまして、カー

テンコールのときに、ローカルコミュ
ニティに合わせて、獅子の毛振りをす
ることを思いつき、現地の方にそれに
ふさわしい、派手なノリの良い曲を
チョイスしていただきました。例えば、
ミシガン大学はアメフトの聖地です
から、その応援歌に合わせて毛を振
って、とても喜んでいただきました。



「石橋」UCLA公演

児玉 サンフランシスコで二日続けてレクチャーをして、
現地でお迎えになる先生の導き方によって、客席の反応がこ
んなに変わるものかというのを実感しました。

1日目の、カリフォルニア大学バークレー校では、「今日
は歌舞伎のレクチャーが来てくれたので、みなさんよく見て
くださいね」というような導入でした。客席は、非常に静かで、
息をのみながら、一挙手一投足を見つめてくださっている感
じでした。これはこれで、いいんです。ところが、次の日の、
サンフランシスコ州立大学の先生は、歌舞伎は賑やかにわい
わい言いながら観るものだというご信念で、「いいと思ったら
「KYOYA!」と声をかけるんだ」と言って、「KYOYA!」
と書いたボードを見せて、「じゃあみんなで言ってみよう、
はい、KYOYA!」と、「大向こう」の練習までして。そう
すると、一挙手一投足に「おお〜」と声上がるんですね。

京蔵 海外では、上演中は静かにご覧になるのが基本なの
で、拍手も減多やたらにはしません。「引き抜き」は、やっ
ている方としては、やはり拍手が欲しい場面ですが(笑)、
割と静かにご覧になっていますので、「引き抜きの時は、い
いなと思ったら拍手をしてください」とレクチャーしたこと
もございました。

今回は、メキシコでもキューバでも通訳の方が掛け声のレ
クチャーをしてくださいました。そうしますとやはり掛け声がか
かります。そういう歌舞伎を見る作法をお伝えすることも大
事だと思いました。

海外公演での葛藤

京蔵 海外で、歌舞伎の女方術のご紹介をしますと、非常
に興味を持ってくださるのですが、理解されにくい部分もご
ざいます。女方の型がいわゆる女性のステレオタイプの助長
だと受け取られてしまうことがあり、毎回悩みどころです。

児玉 かぎって付きの「女らしさ」をより過剰に表現する、
男性よりも一歩引いた女性像を助長すると見られるのですね。

京蔵 女方のレクチャーの時には、六世尾上梅幸（1870～1934）の芸談にもある、指の使い方で年齢を表現するというのを、私はやるんです。若い女性と中年の女性と年配の女性では、指の指し方が違う。これがご高齢のご婦人に対して失礼だと言われたことがあります。

あとは口元を袖なり手で隠して笑う所作。お姫様とか娘の基本だとレクチャーをしたところ、「どうして大きな口を開けて笑ってはいけないのですか？」と突っ込まれました。歌舞伎における、封建時代のある階層・年齢の女性の表現だと説明しても、その方は納得できなかったらしく、翌日、「これをあなたにあげます」と言って、大きな口を開けて笑っている女性の写真を持ってきてくれました。まだ家にあります（笑）。

児玉 お国お国によって、時代時代によって、どこを女性らしさ、もしくは女性であることの大事な点と見るかというところが違うのですね。

「通じる」ということ

京蔵 面白い経験をしたのは、1997年に『血の酒 血の婚礼』（ガルシア・ロルカ原作の舞踊劇）でフラメンコとコラボレーションした時です。私が歌舞伎の女方で花嫁の演技をしていたら、アメリカ人の演出助手の方に「日本にもスタニスラフスキーシステム（*）があるんですね。」って言われたんです。私は、そんなつもりで演技をしていたわけではなかったので、びっくりしました。

*モスクワ芸術座の創立者の1人で、演出家・俳優のK・スタニスラフスキー（1963～1938）が実践に基づいて作り出した体系的な俳優術。

児玉 その方は、歌舞伎の様式は、リアルな人間の表現から少し浮きあがったようなものという印象を持っていたけれども、そうじゃなくて、これはこれで別の形で人間を表現するものだ気づいたわけですね。京蔵さんは歌舞伎を演じる形で現代劇に挑まれたけれども、あちらには、歌舞伎の特殊性ではなく表現のある種の普遍性みたいなものが通じた。

相手に合わせるのではなくて、ご自分のものを持っていかれた時に国やジャンルを越えて通じ合う。それがきっと「通じた」ということなんですね。

京蔵 歌舞伎以外のものとコラボレーションをする時には、一歩踏み出すけれども、型は歌舞伎に作っておかなくてはいけない。自分の内側のものと外とをどんなふうに意識す

るか、そのバランスの大切さをいつも感じます。

児玉 抛りどころである歌舞伎が強固であればあるほど、内と外の境をより意識されるし、踏み出す必要性も感じられるんですね。

京蔵さんが、文化庁文化交流使に抜擢されたのは、国内において、見識・伝承の面で誰よりも信頼に値するお一人だということです。そういう方が海外に行って発信して下さるということが一番大切なところですよ。だからこそ「ああこれが歌舞伎なんだ」「自分たちの身近なものこんな風に接することができるんだ」と、皆さんが喜んで下さるわけです。

海外公演のもう一つの意義

児玉 ロサンゼルスでの公演には、すごい方が観にいらしたんですね。

京蔵 宗家藤間流の名執の重鎮中の重鎮で、六代目尾上菊五郎（1885～1949）に手ほどきを受けたことがある、御年101歳の大変なお師匠さん（藤間勘須磨）が来てくれました。私は冷や汗ものでしたが。

児玉 実は、アメリカの社会に根付きながら日本文化を守っていらっしゃる方が、我々が思う以上にたくさんいらっしゃるわけです。ですから、我々が海外に出るといのは、改めて日本の文化を見直したり、現地ですでに根付いている日本の文化に出会ったりする。そういう機会でもあるように思いますね。

〈配信現場取材して〉

イベントのオンライン開催は、まだ試行錯誤の段階、しかも「密」を避けるため最少人数のスタッフで行わなくてはなりません。緊張感が漂う配信会場では、登壇者とスタッフが、姿の見えない参加者に寄り添い、伝えようと工夫を重ねていました。今の自分たちにできることを考え、行動に移すことの大変さと大切さを感じました。

参考・写真引用

・中村京蔵氏公式ホームページ

<https://www.kyozo.jp/index.html>

・お茶の水女子大学ホームページ

「未来へつなぐ伝統芸能」プロジェクトの発足

<http://www.ocha.ac.jp/event/20200715.html>

2020年度 徽音塾のご案内

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/courseinfo/#d>



秋・冬学期講座はオンライン双方向型（Zoom 使用）となります。

- Zoom は無料で使うことができます。
- オンラインですので、子育て中の方、遠方の方にもご参加いただけます！
- 適宜ネットワーキングランチを催し、受講生の交流を促進します。

【定員】各回 30 名程度

【受講料（税込）】 ※ 2020 年度は、入塾料は不要
 本講座 1 講座（4 日間）：25,000 円
 本講座部分受講（2 日間）：16,000 円
 トライアル講座（1 日）：5,000 円／塾生、お茶大卒修生、
 法人申込の方は 4,000 円

【2020 年 11 月以降の開講予定時間】 時間 13:30 ～ 16:40（間に 10 分の休憩）

	開講日	講師	タイトル	申込締切	入金締切
秋学期	11/7（土）・11/15（日）	神原 理	11 月本講座前半「マーケティング入門」	10/26（月）	10/29（木）
	11/21（土）・12/5（土）	露木 恵美子	11 月本講座後半「経営戦略の基礎」	11/9（月）	11/12（木）
	11/28（土）	森 暁子	トライアル 11 月講座 「ビジネスパーソンの教養：日本文学」	11/16（月）	11/19（木）
冬学期	12/12（土）	林 有維	トライアル 12 月講座 「ビジネスパーソンの教養：美術鑑賞」	11/30（月）	12/3（木）
	1/10（日）・1/17（日）	鹿住 倫世	1 月本講座前半 「新規事業開発に効く！イノベーションと企業家活動」	12/21（月）	12/24（木）
	1/23（土）・1/30（土）	中久保 豊彦	1 月本講座後半 「SDGs 時代の環境への取り組み」	1/12（火）	1/14（木）
	2/6, 13, 27, 3/6（土）	汐崎 浩正	2 月本講座 「女性リーダーが使えるビジネス関連の法律」	1/25（月）	1/28（木）

【レポート／修了証】

本講座 4 回のうち 3 回以上を受講しレポートを提出した場合、通常の講座と同様に審査、修了証を発行します。

- ※ 本講座部分受講、トライアル講座受講には修了証はありません。
- ※ 本講座部分受講の方はレポートをご提出いただけます。
- ※ トライアル講座ではレポートはありません。

【お申込／締切】

以下の URL からお申し込み下さい。

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/courseinfo/application/>



複数回まとめてお申し込みいただけます。

受講の可否につきましては、できるだけ早く審査をしてメールでご連絡します。

※人数が上限に達し次第、受付を締め切ります。

【お問合せ】

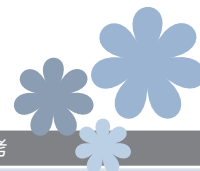
お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局

E-MAIL : kiin-le@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学 イベント情報

2020 年 11 月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2020 年 11 月 23 日（月・祝） 14:00 ～ 15:30	第 25 回リケジョ - 未来シンポジウム 講演者：榎田朋子（人間・環境科学）、田村りつ子（生物学）	無料	【会場】オンライン（Zoom） 【主催】お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構 【対象】女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生・大学院生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP 内の専用フォームにて（締切 11 月 19 日） 【問合せ】E-MAIL : coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp
2020 年 12 月 20 日（日） 14:00 ～ 15:30	第 26 回リケジョ - 未来シンポジウム 講演者：三谷英李（生物学）、岡田奈奈（化学）	無料	【会場】オンライン（Zoom） 【主催】お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構 【対象】女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生・大学院生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP 内の専用フォームにて（締切 12 月 17 日） 【問合せ】E-MAIL : coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp





夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

夢のつばさプロジェクトでは、新型コロナ肺炎の感染拡大に伴い、2019年度末の春の交流会と2020年の夏キャンプが中止となりました。例年なら秋の交流会の企画が進むころですが、残念ながらやはり中止せざるを得ないと考えています。子どもたちとのキャンプでは、楽しいアクティビティも、寄り添っての語り合いも、まさに密集して密接にふれあい、声を掛け合う活動です。移動には長時間の新幹線などの利用も避けられず、楽しいおしゃべりのない食事もあり得ません。念入りに準備をして実施するにしても、万が一クラスターが発生するようなことがあれば、子どもたちが東北へ戻って、感染を広げることになります。そう考えると、この先もこれまでのような交流活動は、年単位で実施が難しくなるかもしれません。子どもたちからは、「夢のつばさの活動はどうなってしまうの」、「プロジェクトがなくなってみんなと会えなくなってしまうの」という問い合わせが届くようになりました。



スタッフたちは集団活動の休止に対応して、子どもたちと交流するための検討を始めました。大学生から子どもたちやご家庭へ送る新聞も、月2回に発行を増やすことにして、これまで行事報告が多かった内容から、大学生の日常や想いなどを中心に発信するスタイルに一新しました。次に、大学生と子どもがグループで手紙をやり取りする交換日記も始めることにしました。学生スタッフの『子どもたちとつながりたい、子どもの考えていること、今興味を持っていることが知りたい』、という純粋な思いを大切に、気を配ったほうがいいこと、ありがちなトラブル等を想定して、社会人スタッフとやり取りを繰り返しました。『日ごろ思うこと、気づいたこと、紹介したいこと、なんでもOK。でも誰かの悪口を書いたり、仲間はずれにするようなことはNG。根拠のないうわさ、情報については、軽々しく広めたりしないよう注意喚起』と、ルールを決めています。個人情報を守る配慮も確認しあっています。



さらに大学生たちから、インターネットを利用して子どもたちと交流したいという提案がありました。子どものインターネット使用に不安を持つ保護者もいらっしゃるのではないかとアンケートを行ったところ、中には、「スマホなどのゲームに普段から時間を取られているが、それを助長しないか」、「危険な大人からの誘いを受けるようなサイトの使い方を知ってしまうのではないか」等、心配される方もありました。



すでに学校教育の中では、ICT（情報通信技術）利用が進みつつあります。コロナ自粛期間中、オンライン授業をすぐに始めた学校もありました。社会人スタッフは話し合いを重ね、『インターネットスキルに慣れ親しむことは、子どもにとっても有益であろう。気心が知れた仲間の中で、インターネットの活用の仕方、避けるべきこと、危険から自分を守ることを大学生と学び合える機会を持つことは、保護者の不安への対応ともなり、推奨できる』という結論に至りました。



大学生スタッフは早速、夢のつばさプロジェクトの参加者に限定した、インターネットのコミュニケーションシステムを使って、8月末にはオンライン交流会を実施しました。タブレット機器の貸し出しも準備し、今後、勉強会などの企画も始まります。夢のつばさプロジェクトにとっても、対面での活動ができない現状で、こうした活動が軌道に乗っていけば、子どもたちと、日常的に連絡を取り合えるという、大きなメリットが得られます。コロナによる難局をバネに、新しいツールを使った日常的な交流へと飛躍する機会にできるよう、取り組んでいきたいと思います。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org

オンライン開催 お茶の水女子大学 第71回徽音祭

11月7日(土)・8日(日)
10:00~18:00

特設HPより、YouTube、Twitter、Web、Zoomの各種コンテンツにて行われる多数の企画に参加可能!

おうちでできるマッサージ、模擬授業、受験生相談室、さいちゃんクッキング、オリジナルピンゴ配信、水コンなど、楽しい企画が盛り沢山!



公式HP



公式 Twitter



さいちゃん Twitter



2021年度 共催講演会・助成金事業の募集について

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

広く一般に向けた参加予定人数が50名以上の講演会を対象とし、講師謝礼金の助成(上限3万円)、講師交通費(実費)の支給、広報協力等を行う。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金の支給)

【対象】(1)学術・調査・研究・教育等の活動

(2)学術関連等の出版事業

(3)国内及び海外におけるボランティア活動

(4)国際協力研究・教育支援事業

(5)保育及び子どもの健全育成のための活動

【助成金額】事業費の2分の1以内とし、1件につき10万円まで

*対象となる事業期間:2021年4月1日~2022年3月31日

*申請受付:2回に分けて受け付けます。

第一次:2020年10月1日~11月30日

第二次:2021年4月1日~5月31日

*それぞれの受付期間終了後に、一括して審査を行います。

*詳細:お茶の水学術事業会HP「共催・助成金」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

*申請・お問い合わせ:お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org

TEL:03-5976-1478(月~金10時~16時)

秋の夜長に! お茶の水ブックレットシリーズ

【定価】1冊500円(本体価格、消費税・送料別)

第11号「2015年ノーベル生理学・医学賞受賞
大村智博士講演録 私の半生と出会った女性たち」

2018年に開催された講演会の記録、参考資料としてエッセイ「妻・大村文子(芙視子)の生涯」を収録
第10号「キャリア・デザインと子育て—首都圏女性の調査から」

「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会(著)石井クツツ昌子(監修)坂本有芳(編集)
第9号「子どもは変わる・大人も変わる—児童虐待からの再生」

内田伸子(著)

第7号「家族と犯罪—近しい者の憎悪はなぜ?」

第3回「読売・お茶大 女性アカデミア21」(2006年10月28日開催)の記録。基調講演(久田 恵)、パネルディスカッション(パネリスト:戒能民江・久田 恵・小谷真勇・宮本みち子、コーディネーター:北村節子)

第6号「女性と科学」を科学する ※在庫僅少

第2回「読売・お茶大 女性アカデミア21」(2005年6月25日開催)の記録。対談(毛利 衛×樋口恵子)、パネルディスカッション(パネリスト:青山聖子・國井秀子・千葉和義・室伏きみ子、司会:北村節子)

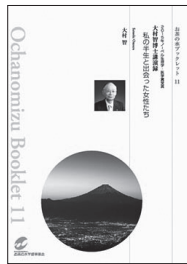
【詳細】お茶の水学術事業会 HP

<https://www.npo-ochanomizu.org/booklet.html>

【ご注文・お問合せ】お茶の水学術事業会 事務局

TEL&FAX:03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

Amazonでもご購入いただけます。



お茶の水グッズ 通信販売のご案内!

- HPの注文フォーム、メール、電話、FAXでご注文を受け付けます。
- 日本全国に配送いたします。*送料は実費をいただきます。
- 代金は商品到着後、ゆうちょ銀行 または りそな銀行の口座にお振込みください。

お茶大グローバル 1箱648円(税込み)

いちご・ちよこ・ぱいら 各2袋(計6袋)入り

製造 株式会社上野風月堂

一筆箋 1冊396円(税込み)

縦17cm×横8.2cm、本文5行、30枚

*縦書きにも横書きにも使えます。



クリアファイル【A5サイズ】1枚110円(税込み)

大学の学章のデザインに使われているお茶の花の写真(大塚常樹教授撮影)入り

【A4サイズ】1枚132円(税込み)ピンク・グリーン

*一筆箋とA4サイズのクリアファイル

はお揃いのデザイン。

国の登録有形文化財建造物に指定されている大学

本館と幼稚園園舎のステンドグラスをイメージし

「Ochanomizu」の文字をちりばめました。大学

附属学校の園の5つの校章も入っています。

絵はがき 1枚88円(税込み)

詳細はHP「お茶大関連グッズ」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org>

【ご注文・お問合せ】お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org TEL:03-5976-1478



編集後記

今や外出時の必需品となったマスク。機能性は言うまでもなく、素材やデザインに工夫を凝らしたものが増え、これからの季節は防寒対策にも使えそうです。ただ、顔の約2/3がマスクで隠されてしまうと、心の機微が伝わりにくくなるのでは?と気がかりです。諺では「目は口ほどに……」だそうです。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は2021年2月に2500部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月~金10:00~16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<https://www.npo-ochanomizu.org>

*会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩8分

都バス

大塚2丁目バス停すぐ

